

令和4年度 決算状況						人口 令和2年国調 平成27年国調 増減率	面積 766.89 km <sup>2</sup> 人口密度 3人	区分	住民基本台帳人口 2,421人 2,721人 増減率 -11.0%	うち日本人 2,334人 2,392人 増減率 -2.4%	産業構造			都道府県名 団体名		市町村類型	I-O		
								令5.1.1 令4.1.1 増減率	2,363人 2,412人 増減率	2,334人 2,392人 増減率	区分	令和2年国調	平成27年国調	01	5601		I-O		
歳入の状況（単位：千円・%）											第1次	271 22.6 188 15.7 742 61.8	273 21.5 203 16.0 796 62.6	北海道 滝上町		地方交付税種地	2-1		
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	市町村税の状況（単位：千円・%）					指定団体等 の指定状況		収入済額 構成比 超過課税分		旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	旧新産× 旧工特× 低開発× 旧産炭× 山振興○ 過疎○ 首都× 近畿× 中部× 財政健全化等× 指数表選定○ 財源超過×	収 支 状 況	歳入総額 歳出総額 繰越すべき財源 翌年度に繰越すべき財源 実質収支 単年度収金 繰上償還金 繰立金取崩し額 実質単年度収支	5,096,752 4,764,471 332,281 687 331,594 -56,470 250,599 - - 194,129 264,352	4,713,365 4,320,021 393,344 5,280 388,064 93,798 170,554 - - -					
区分		決算額	構成比	経常一般財源等	構成比														